



藤山直美氏

第63回「社会を明るくする運動」山科区大会

～犯罪や非行を防止し、
立ち直りを支える地域のチカラ～

法務省主唱の「社会を明るくする運動」は、今年で63回を迎え、「更生保護の日」である7月1日から1ヶ月を強調月間として、全国各地で様々な活動が実施されます。

区内では、山科区大会が開催されます。今年度は、山科区にゆかりのある女優の藤山直美氏による講演や青年ボランティア団体の京都中央地区BBS会の発表、区内の小中学校による合唱、演奏などが行われます。

館内では区内の小中学校、総合支援学校から寄せられた絵画や書の展示も行います。

- 日時 / 7月14日(日)午後1時～
- 場所 / 東部文化会館(柳辻西浦町)
- 内容 / 一部: 式典
二部: 藤山直美氏による講演「愛する山科と私」
発表「BBS—私たちにできること～京都中央地区BBS会」
西野小学校5、6年生による合唱
勤修中学校吹奏楽部による演奏
- 問合せ先 / 「社会を明るくする運動」山科区実行委員会(☎595-1221)

山科区 農業祭



昨年度の様子

区内の農業者の方々から丹精込めて育てた質の高い農産物を、多数展示し品評会を行うほか、出品物を即売します。

農業祭では地域で育てた安心・安全で新鮮な野菜や、花苗の販売、パンフレット配布などを通して、区民の皆さんに地域の農産物を広く紹介します。

皆さん、ぜひお越しください。

- 日時 / 7月13日(土)午前10時～午後3時30分
※台風など悪天候の場合は中止。
※出品物の販売は、午後2時から開始。
※買い物袋をお持ちください。
- 場所 / 区役所前広場
- 問合せ先 / 東部農業振興センター(☎641-4340)

小学生対象! キッズクッキング「料理の基本の“き”」

- 日時 / 平成25年7月26日(金)午前10時～12時30分
- 場所 / 山科区役所 2階栄養室
- 内容 / 食事の話、調理実習、試食
- 対象 / 山科区にお住まいの小学校1～3年生とその保護者
※保育体制はありません。
- 定員 / 各回とも12組24名<先着順>
- 参加費 / 親子1組 1000円
- 持ち物 / エプロン、三角巾(バンダナ等)、手ふきタオル、(お子様の)上履きとお箸
- 申込み / 7月1日(月)から電話にてお申込みください。※窓口受付も可
- 問合せ先 / 区保健センター 成人保健・医療担当(☎592-3477)

こんな時は土木事務所にご連絡ください

土木事務所では、道路の安心・安全を確保するためパトロールを行い、危険箇所を早期に発見し、補修等を行っています。

道路の陥没、市街灯(京都市が管理するもの)の球切れ、災害により道路等に影響が出た場合には、土木事務所にご連絡ください。

●問合せ先 / 東部土木事務所(☎591-0013) (※休日・時間外のお問い合わせ先: 土木事務所に電話をいただければ、夜間・休日緊急受付センターに電話が切り替わり、そこで対応します。)

高速道路への立入は重大事故につながります!!

名神高速道路では歩行者や自転車、原付バイクが進入する事例(立入)がよく起こっています。

立入は、死亡事故などの重大事故につながります。高齢者や幼児がおられる家庭では、特にご注意ください。

※自動車専用道路(高速道路)は、歩行者はもちろん自転車等の軽車両

や125cc以下のバイクは通行できません。(参考)名神高速道路(京都府域)内への立入者人数(平成24年)合計41人(うち、歩行者29人、自転車5人、その他7人)

●問合せ先 / 西日本高速道路(株)関西支社茨木管理事務所(☎072-622-4887)

7月5日(金)京都橘大学にて

午後6時30分点灯～
午後8時30分消灯

七夕陶灯路



本年で5年目を迎える、京都橘大学が送る夏の風物詩イベント。地元の伝統工芸品である清水焼陶器や切子のグラスなどにろうそくを浮かべ、優しい灯りで幻想的な

ムードを演出します。

昨年と同様に吹奏楽部、フォークソング部の演奏や、和洋菓子研究会のお菓子の振る舞い、天文同好会のプラネタリウムも予定しております。

約2時間、夏の暑さを忘れる素敵な時間を演出します。ぜひ、お問い合わせの上、お越しください。(小雨決行。雨天時は7月12日(金)に延期)

●問合せ先 / 京都橘大学(☎574-4186)

みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう!

第18回 連載 区民活動きずなリレー

～ボランティアに支えられ～ 山科図書館60周年記念事業

(山科「きずな」支援事業補助金交付事業)
昨年創立60周年を迎えた山科図書館。できたのは京都市内でなんと2番目! 皆さんご存知でしたか? 山科図書館では、これをきっかけに、身近な図書館として多く



1749通の応募の結果、名前は「ぶっくろ」に決まりました!

の人に愛されるよう様々な事業を行いました。

まずはキャラクターのネーミング募集です。美術系の学生がキャラクターをデザインしてく

れたので、名前を小中学生や来館者から募集しました。

他には赤ちゃんの読み聞かせの会の時にベビーマッサージを行ったり、京都コーナーの中に山科関係の本を置く「山科コーナー」を作ったりしました。

宮崎館長によると、これらの事業を進めるにあたり、図書館のボランティアの方々や実行委員会を作ったことが特色だそうです。ボランティアの方々には、子ども文庫や読み聞かせをしていた8団体、15人ほどで、毎月1回「よんでよんで赤ちゃんの会」を交代で開いて



読み聞かせをするボランティアの方々

います。「最初は聴いて帰るだけだったお母さんたちが、だんだんうちとけ、お互いにしゃべるようになったのはボランティアの皆さんのおかげです。キャラクターのネーミングの審査や決定も実行委員会で行ったんですよ。」と宮崎館長。

実行委員長長の浜崎さんは「おはなし珠手箱(たまてばこ)ふうて」の代表として、小学校でのブックトークなども行っています。「赤ちゃん向けの読み聞かせの会をや

りたいと3年前に宮崎館長から相談を受けてからの関わりです。」とのことですが、「思い起こせば、子育て真っ最中の時に図書館ですばらしい本に出会い、読み聞かせの会をはじめました。」やはり図書館に縁があるようです。

また、地域の方々から講師となっている「山科を知ろう」シリーズも60周年をきっかけに始まり、参加者がどんどん増えているそうです。「図書館の職員は何年かしたら替わってしまいますが、地元の方はずっと山科です。地元の方に関わっていただくことで、山科に根付いた取組ができます。」と宮崎館長。山科ならではの企画を期待しています!

●問合せ先 / 区総務・防災担当(☎592-3066)